学校番号	1006

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○手芸の喜び、服飾への活用とはどのようなことなのか考え，関心を持ち，自らの創造力や確かな技術を身につけるために意欲的に実践してみましょう。

・実践的・体験的な学習を通して，理解に基づいた確かな技術を身に付けましょう。
・学んだことを自身の生活課題，社会の課題として捉え，充実した生き方をめざしましょう。

2　学習の到達目標

① 手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得する。
② 制作のための道具を正しく扱い、手芸品を創造的に製作できる。自分の手芸品を表現できる。
③ 積極的に服飾に活用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図やデザイン、手芸に関する基本的な技法に関する知識・技術を身に付けている。	衣生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見いだし、豊かな衣生活の推進に寄与するために、その表現方法を創意工夫する姿勢を身に付けている。	服飾手芸に関する諸問題に関心をもち、豊かな衣生活の推進に向けて、積極的に取り組もうとする姿勢や態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	基礎縫い	○手縫いの基礎 ＊玉留め、玉結び ＊基本の手縫い ○ミシンの構造 ・ミシンの扱い方	a: 基本技術が身についているか。 ミシンの構造や扱い方、糸調子や縫い目の粗さ、糸の種類について正しい知識が身についたか。 b: 計画的に製作にあたっているか。 c:意欲的に取り組もうとしているか。	○実技試験 ○授業観察	○実習レポート ○授業観察	○自己評価表 ○授業観察
	製作①	○製作① ＊製図 ＊裁断 ＊ミシン縫いの基礎 ＊手縫いの基礎 ＊デザイン	a:布の裁断技術、基本の縫製技術、ミシンの扱い方等の技術が身についているか。型紙の書き方、印付けのコツ、まち針の正しい止め方等の知識・技能が身についているか。 b:計画的に製作にあたっているか。自分なりのデザインを作品に表現しているか。 C:作品に興味を持ち、イメージを膨らませて意欲的に取り組もうとしているか。	○製作過程の評価 ○作品の完成度 ○授業観察	○実習レポート ○作品のデザイン ○授業観察	○自己評価表 ○相互評価 ○授業観察
2・3学期	製作②	○製作② ＊作品の構成 ＊手縫いの基礎 ＊デザイン	a:基本の縫製技術、などが身についているか。型紙の書き方、印付けのコツ、まち針の正しい止め方、ﾎﾞﾀﾝ付け、手縫いについて知識が身についているか。 b:計画的に製作にあたっているか。自分なりのデザインを作品に表現しているか。 C:作品に興味を持ち、イメージを膨らませて意欲的に取り組もうとしているか。	○製作過程の評価 ○作品の完成度 ○授業観察	○実習レポート ○作品のデザイン ○授業観察	○自己評価表 ○相互評価 ○授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度